

食品ロス削減の取り組み 企業、業種の垣根を超えて推進 —環境省の「mottECO（モtteコ）導入モデル事業」に採択—

日本ホテル株式会社（東京都豊島区）は、株式会社セブン&アイ・フードシステムズ（東京都千代田区）、ロイヤルホールディングス株式会社（福岡県福岡市）、SRS ホールディングス株式会社（大阪府大阪市）と共同で、環境省「令和4年度地方公共団体及び事業者等による食品廃棄ゼロエリア創出の推進モデル事業等」に応募し、2022年5月31日（火）、「mottECO 導入モデル事業」として採択されました。

今回採択されたのは、「パートナーシップによる mottECO 導入事業者拡大とツール普及スキームの構築、及び、業界、自治体、教育機関と連携した啓発活動による mottECO 普及促進」事業で、「食品ロス削減」という大きな社会課題に対し、事業者が mottECO 導入と拡大を通じ、競合関係を超えたパートナーシップで取り組み、その解決を図るもので、次の4つを柱として実施します。

1つ目に、業種業態を超えたアライアンスによる mottECO 実践店舗の拡大。2つ目に、食べ残し持ち帰り用容器等、ツールの共同調達スキーム構築と有償化の検討。3つ目に、食品ロス削減と脱プラスチック両立のため、持続可能性が担保された紙素材の mottECO 容器実用実験と、宅配やテイクアウト容器へのその応用研究。4つ目に、mottECO 推進事業者ならではの実践経験とデータに基づいた啓発活動の実施です。

具体的には、4社が運営する各店舗で、お客様が食べ切れない料理のお持ち帰りをご希望された場合、共通の専用容器をお渡しし、ご自身の責任においてお持ち帰りいただくことで、「食べ残したものは自分の責任で持って帰る文化」の普及と啓発を図るものです。

本事業についての実施期間は2022年5月31日（火）～2023年2月28日（火）までとなります。

日本ホテル株式会社では、2018年より宴会場でお客様においしく食べきっていただくための「3010運動」の実施や、調理時に出た端材を利用した「もったいないメニュー」の開発、2022年4月より「mottECO」の実施など、食品ロス削減の取り組みを行ってきました。この度、「mottECO」のモデル事業に参加することにより、食品関連事業者等に対し普及拡大に寄与するとともに、異業種3社と連携しながら事業者側の意識と消費者行動の変化の促進に貢献していきます。

※ただし、6月1日～9月15日は、安全を考慮し休止いたします。

■本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

日本ホテル株式会社 マーケティング部 TEL 03-6912-6741 e-mail:pr@nihonhotel.com

〒171-8505 東京都豊島区西池袋一丁目6番1号

◇mottECO 専用の容器（持続可能性を担保した紙でできています）



◇企業別実施ブランド

企業名	ブランド名
日本ホテル株式会社	東京ステーションホテル メズム東京、オートグラフ コレクション メトロポリタンホテルズ（7ホテル） ・ホテルメトロポリタン（池袋） ・ホテルメトロポリタン エドモント ・ホテルメトロポリタン 丸の内 ・ホテルメトロポリタン 川崎 ・ホテルメトロポリタン さいたま新都心 ・ホテルメトロポリタン 高崎 ・ホテルメトロポリタン 長野
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	デニーズ（都内全店：順次拡大予定）
ロイヤルホールディングス株式会社	ロイヤルホスト（運営：ロイヤルフードサービス株式会社）
SRS ホールディングス株式会社	和食さと（運営：サトフードサービス株式会社） ※準備が整い次第開始予定

「mottECO（モッテコ）」とは

環境省で、利用者とお店の相互理解のもとで、飲食店等における食べ残しの持ち帰りをより身近な文化として広めることを目的として開催した「NEW ドギーバッグアイデアコンテスト」で大賞に輝いたネーミングです。今回作成された「mottECO（モッテコ）」のロゴは、食べ残しを持ち帰ると、美味しく笑顔、無駄が無くて笑顔、自分もエコに貢献できたことに笑顔、と、人々が笑顔になることを表現したデザインとなっています。

環境省 Web サイト参照

<http://www.env.go.jp/press/108796.html>



■本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

日本ホテル株式会社 マーケティング部 TEL 03-6912-6741 e-mail:pr@nihonhotel.com

〒171-8505 東京都豊島区西池袋一丁目6番1号